

令和元年 9月

佐々木晶子 学位論文審査要旨

主 査 松 浦 治 代
副主査 萩 野 浩
同 深 田 美 香

主論文

Impact of organization and career commitment on clinical nursing competency

(臨床看護能力に及ぼす組織とキャリアコミットメントの影響)

(著者：佐々木晶子、深田美香、奥田玲子、藤原由記子)

令和元年 Yonago Acta Medica 62巻 221頁～231頁

参考論文

1. A県の臨床経験1年目から5年目の看護師の実践能力に関する自己評価

(著者：佐々木晶子、深田美香、奥田玲子、畠山久美子)

平成25年 米子医学雑誌 64巻 154頁～162頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、鳥取県内の看護職員を対象に、看護実践能力とコミットメントの質問紙調査の結果から、看護実践能力に対するコミットメントの影響を検討したものである。その結果、経験年数1～2年目と20年以上は職務や仕事に対する思い入れ、5～9年目は職業生活全般を通して感じる満足感、10～19年は所属組織を変わっても一生を通じて追求する専門分野への志向性が最も実践能力に影響していることが明らかになった。これらの結果から、看護職者の実践能力向上には、経験年数により異なるコミットメントを高める組織的対策の必要性が示唆された。本論文の内容は、保健学の分野で看護職が所属組織との良好な関係を築き、意欲的に専門性を発揮できる組織的支援のあり方を提示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。